

解答

- 一 ウ 練習しまく るしかない 「から。」
期待にこた が混在する 「気持ち」
- 2 3 4 5 6 7 8
イ ウ イ エ ウ イ ウ
ノからそらすこと。
「柏木先生が」携帯電話を足もとに置ぐのを見られないようにするため、観客と係員の視線をグランピア
- 松山先生に歌を届けたいという強いおもい。
- 二
1 この子が非 は何かなど
「その時その場の真実」に賭ける 「から。」
- 2 3 4 5 6 7 8
エ エ エ エ エ エ エ
誰がいつどこで聞いても正しいこと・いつどいでも誰にでも通じる正しいこと
(2) (1) 役に立たない 「もの」
ある時役に立った忠告を、普遍的真理のように思ってしまうこと。
- 三
1 ぞうきばやし 2 じょぶん 3 のうつ 4 そな 「える」 5 いた 「る」
- 四
1 日課 2 磁石 3 城下 4 収 「める」 5 日増 「し」

解説

- 一
8 「私たちは、ただ歌を届けたかった。海をわたったところにいる、大切な人（＝松山先生）に。」という「純粹で強いこころ」を共有していたことを読み取りましょう。
- 二
5 「二つ前の段落に「ある時、ある人に役だった忠告が、100%正しいことは言い難い」「ひとつの忠告が役立つと、人間は嬉しくなってそれを普遍的真理のように思い勝ち」とあり、次の段落でその具体的な例をあげています。この部分を指していますので、まとめて答えましょう。